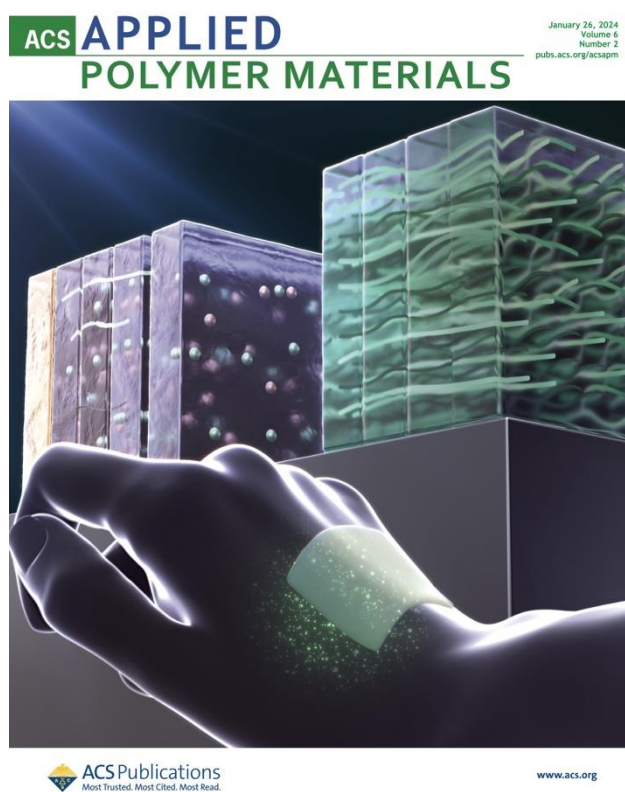


プレスリリース：高分子化学研究室（研究室主催者：為末 真吾 准教授）

高分子化学研究室（研究室主催者：為末 真吾 准教授）、および同研究室修士2年岡田理沙が報告した、接着部の外側から接着するタイミングや場所を制御することのできる、柔らかいゼリー状材料であるゲルの間接的な接着手法に関する論文が *ACS Applied Polymer Materials*（アメリカ化学会）の表紙絵に選出されました。本研究課題のように患部に触れずに接着できる技術は生体内でのゲルの人工組織としての利用や薬物輸送、工業分野での塗料やゴムの利用に応用展開することが期待されます。



論文名：Indirect Adhesion of Hydrogels via the Radical Polymerization Mediated by N,N,N',N'-Tetramethylethylenediamine and Ammonium Persulfate

雑誌名：ACS Applied Polymer Materials (American Chemical Society)

著者名：Risa Okada, Shingo Tamesue*

(*：責任著者)

巻：6, 号：2, 頁：1268–1275

URL：<https://pubs.acs.org/doi/full/10.1021/acsapm.3c02279>